

明目に伝える安土城跡

～特別史跡の保存と現状変更～

文化財は長い歴史の中で生まれ、先人たちが守り続け、今日の私たちの世代に伝えられてきた貴重な国民の財産です。特に重要な史跡として特別史跡に指定されている安土城跡を後世に永く伝えていくためには、史跡地の所有者である皆様や史跡地で事業を行う皆様の御理解と御協力が必要です。

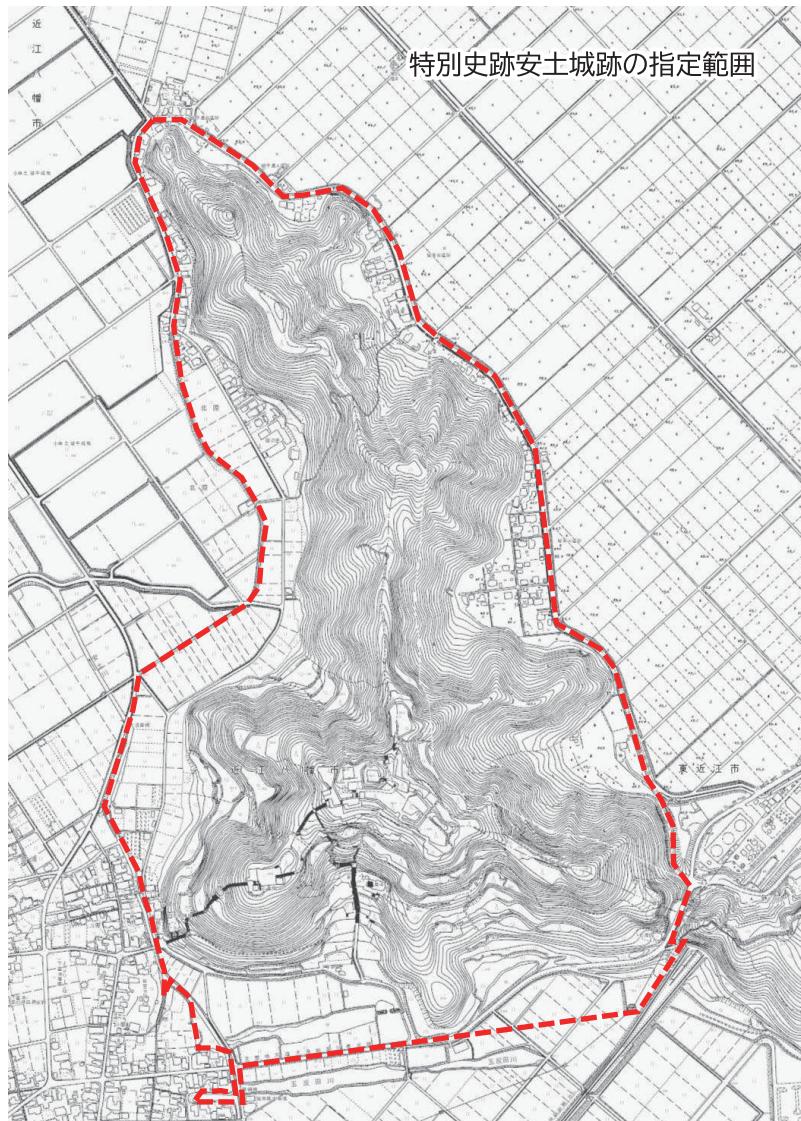
史跡とは

史跡は遺跡の中でも歴史上・学術上の価値が高く、国や地域の歴史を理解するうえで欠かせない文化財です。史跡のうち学術上の価値が特に高いものが「特別史跡」（国宝に相当します）に指定されます。



史跡の保護と現状変更

史跡には遺構や遺物を含む土地全体のほか歴史的な景観も含まれており、今ある状態のまま後世に伝えていかなければなりません。史跡指定地でやむを得ず現状に変更を加える行為や、保存に影響を及ぼす行為を行う場合は、**文化庁長官による許可**が必要です（文化財保護法第125条）。



まずは地元の文化財保護部局に御相談ください

現状変更等の許可申請は、申請から許可までに通常で1~2か月かかります。手続きの流れを知らないで計画を進めると、設計や期間の変更など様々なことに影響することがありますので、現状変更等を計画される場合は、まず地元の文化財保護部局（近江八幡市総合政策部文化振興課／東近江市埋蔵文化財センター）に御相談ください。

現状変更等許可申請手続きの流れ

- ・計画時点で、まず文化財保護部局に御相談ください。申請から許可までには通常で1~2か月かかります。
- ・申請後に内容や期間を変更する場合は、軽微な変更であっても事前の協議と変更許可申請が必要です。

現状変更等行為の計画



事前協議・照会



現状変更等申請書の提出



文化庁からの通知



許可

条件付き許可
(工事時の立会もしくは事前の発掘調査や確認調査が条件)

工事立会

影響なし

事前調査

影響あり

※重要な遺構等が発見された場合は、再度協議が必要となり、許可・不許可が判断されます。
設計変更等で対応できる場合は、改めて許可申請書を提出し、許可を待つことになります。

※再協議

終了報告の提出

終了後は速やかに市の文化財保護部局宛てに終了報告を提出してください。
※所有されている土地の名義変更についても手続きが必要です。
詳しくは市の文化財保護部局にお問い合わせください。

お問い合わせ

近江八幡市総合政策部文化振興課 048200@city.omihachiman.lg.jp TEL 0748-36-5529

東近江市埋蔵文化財センター mole@city.higashioomi.lg.jp TEL 0748-42-5011

遺構や遺物の保存に影響のある行為

- ・耕作地の改修
(暗渠排水の設置や整地など土地の掘削や盛土を伴う工事)
- ・既存の建物や工作物※の撤去
(老朽化した建物や工作物の撤去工事)
- ・住宅や倉庫などの新築/増築/改築
(棟数を増やすことは認められません)
- ・道路の工事
(道路の新設/拡張/付帯施設や側溝の設置改修など)
- ・河川や湖沼の工事
(浚渫、護岸などの改修工事や架線の新設など)
- ・公共の電気上下水道設備の工事
(電柱の設置や建て替え、地下埋設管の設置や改修)
- ・治山に関わる施設の設置
(急傾斜地の落石防止工事や砂防工事等とその付帯工事)
- ・木竹の伐採や植栽
- ・掘削を伴う工作物の設置
- ・建築物の色彩変更
(建物の外壁工事や瓦の葺き替えなど)
- ・屋外資材置き場などの設置
- ・掘削を伴わない工作物の設置

歴史的景観に影響のある行為

※工作物とは、建築物を除くもので、車庫・柵・浄化槽等の家屋に伴うものや、仮設建物（プレハブ建物）、標識や案内板などの屋外広告、イベントなどに伴うテントや撮影機材類などを指します。